

# 東芝岡村社長は中労委命令を守れ

2・17全労連争議支援総行動（東芝本社 要請行動）



写真は支援の挨拶を行う川崎労連竹内事務局長

全労連・東京地評・神奈川労連・横浜労連・川崎労連・港区労連をはじめとする労働組合の支援をうけて、東芝本社に、力強く東芝争議の早期全面一括解決を要求した。

「差別をなくせ」の行政命令を守らない理由は？  
東芝の評価を下げる調査結果に真の反省を

ことし一月発表の「企業の社会的責任（CSR）調査」、二月発表の「入社したい人気企業調査」で、東芝はいずれもランキング外にという厳しい結果になりました。東芝新聞では「海外では高い評価」といばつてみても、事情に詳しい国内の調査で評価されなければ、いずれ海外での評価も下がるでしょう。

**労働委員会命令を履行し  
争議解決を決断すべきです**

なぜ、東芝は国や県の行政機関である労働委員会の命令を守ろうとしないのでしょうか？ 違法行為をいつまで続けるつもりでしょうか？

これでは、社長がどんなメッセージを発信しても、本音と建前が違うことにならないでしょうか？

**勤労担当は、人権無視の**

**不当なあらさがしを**

**役職者に、おしつけるな**

会社が中労委命令に従わずに東京地裁に訴えた裁判は、三月十一日から始まりです。神奈川県労働委員会では、第二次申立人9名の審問が行われ、勤労担当の指示により、申立人の上司が「あらさがし証言」をやらされています。

調査内容	CSR	入社希望
発表日	05年1月	05年2月
発表順位	上位50位	上位100
ソニー	1	11
松下	2	6
NEC	4	18
日立	6	14
三洋	13	ランク外
シャープ	14	39
三菱	21	ランク外
富士通	24	14
東芝	ランク外	ランク外

申立人の須佐さんには、特許や技術報告書などの豊富な実績を否定できず、「この報告書を書いたのは さんでしょう」などと他人の成果をよこどりしたかのようなヒドイ尋問をしました。

また松本さんは、東芝技能訓練校を卒業して原子力発電所の格納容器の溶接でも活躍してきました。会社は技能の高さを否定できなくなつて、「技能者の多くは役職につけない」と職場の実態を無視した尋問をしました。

そして金子さんには、当時の勤労課・相賀主任（後の労務担当専務）が時間中に呼び出して「金子とつきあつた」と攻撃したことを、「親代わりのつもりで面倒をみていた」かのように主張し、いまだに会社は人権侵害を反省していない態度をあらわにしました。

会社は、入社以来三十年以上も差別しておきながら、あらさがし証拠作りをした最近の事例を使って、申立人らがまじめに仕事に励んできたことを否定するために、管理職の人たちに「見てきたようなウソの証言」をさせ、人権侵害を重ねています。こんなことは、許されません。

**差別是正争議の解決に向けて**

**職場と地域の皆さんの「支援を**

東芝と東芝関係会社で働く皆さん、地域の皆さん、労働組合の皆さん、私たちは、東芝に違法な差別をなくさせ、企業の社会的責任（CSR）をはたさせるためにがんばります。みなさんの大きな支援をお願いします。



人権を守り差別のない明るい職場をつくる東芝の会（東芝の職場を明るくする会） 2005年 2&3月

〒212-0024 川崎市幸区塚越2-225 安伸ビル

Tel & Fax : 044-533-1408

ホームページ//www.kki.ne.jp/akaruku-tsb/

「東芝 & 人権」で検索して下さい。